

みんなでまちづくり
探検隊

NPO 法人

「こんぶくろ池自然の森」

柏市

こんぶくろ池自然博物公園は、東京ドーム約4個分、18.5ヘクタールの広大な自然の森です。今回は、市民が中心となり、地域の様々な主体と連携し、学識経験者による指導・助言も仰ぎながら、多様な動植物など自然環境の保全・育成活動を行い、こんぶくろ池自然博物公園を管理運営しているNPO法人「こんぶくろ池自然の森」について紹介します。

こんぶくろ池自然博物公園は、現存する手賀沼唯一の自然水源である湧水「こんぶくろ池」及び「弁天池」と、貴重な動植物が生息する森林からなる自然公園です。

こんぶくろ池周辺の森は、湧水の影響により周辺環境より気温が低く、冷温帯の植物なども生息しています。また珍しい昆虫類も確認されており、都市化が進む地域では稀有な自然環境です。

こんぶくろ池
自然博物公園



■ こんぶくろ池

こんぶくろ池と弁天池は、湧水によってできた池です。この2つの池から流れ出た湧水は、手賀沼の源流として地金堀より大堀川を経て流れ込んでいます。



■ 弁天池



■ 園内散策マップ



■ 野馬土手

江戸時代、徳川幕府が管理する放牧場の周囲に巡らせられた土手のことで、馬が近くの村に入ったり、農作物を荒したりしないように築かれ、こんぶくろ池の横など、数か所の野馬土手が現在も残っています。



■ 整備された遊歩道

湿地帯で、土の上を直接歩くと地面にも人の足にもよくないということで、NPOのメンバーが遊歩道を自分たちで整備しました。

NPO 法人「こんぶくろ池自然の森」プロフィール



■ NPO 法人「こんぶくろ池自然の森」

■ こんぶくろ池自然博物館公園位置図

「市民で育てる 100 年の森」をキャッチフレーズに、柏市から公園管理・運營業務を受託し活動を行っています。こんぶくろ池等と、その周辺林の自然環境の保全・育成活動を行い、貴重な湧水と緑の資源を育むとともに、歴史や文化遺産を守り育て、森と人との営みを活かしたコミュニティづくりや、住みよいまちづくりに寄与することを目的に活動をしています。

○法人名称

特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森

○設立：2010 年 4 月 7 日

○会員数：76 名（2025 年 1 月末現在）

○定例活動日

里山保全・調査活動	鳥の調査	公園管理
第 1 土曜日、 第 3・第 4 日曜日 9：00～12：00	第 3 火曜日 9：00～12：00	土日祝 (当番制)

法人設立経緯・これまでの歩み

法人設立経緯

こんぶくろ池周辺等の開発が進み、森が少なくなり市街化が進む中において「こんぶくろ池自然博物館公園」の認知度は高まってきました。集団見学での来園や森林セラピー体験等、様々な目的で来園する方が増加するに伴い、貴重種草花の大量採取や、池で釣りをする等整備中の公園が荒されつつある実態から監視・管理が必要となってきました。

また、市との協働や活動用の道具・工具類など運営資金も必要となりました。この為、

- 活動を世代を超えて繋げてゆくには、法人化しておく必要がある
- 市民の信頼が得られる活動団体として、法人化する必要がある
- 行政との協働作業がスムーズに進められる

この様な経緯から、ボランティア活動から一歩進み、市民ボランティア団体であった「調査隊」と「里山隊」が合流し、NPO 法人「こんぶくろ池自然の森」が設立されました。

これまでの歩み

NPO 法人 設立 前	1980 年代～	「こんぶくろ池保存の会」活動（S55 年～H4 年）
	1995	「こんぶくろ池を考える会」結成
	2003	柏市「こんぶくろ池公園環境創造会議」設置
	2005	こんぶくろ池自然博物館公園整備基本計画策定調査報告書発行
	2006	こんぶくろ池自然博物館公園「調査隊、里山隊」設立、「アドバイザー会議」設置
NPO 法人 設立 後	2010	「NPO 法人こんぶくろ池自然の森」設立
	2011	（公財）日本自然保護協会「沼田眞賞」受賞
	2012	国土交通大臣「みどりの愛護功労者賞」受賞
	2013	国土交通大臣「手づくり郷土賞」受賞
	2016	こんぶくろ池みお渡え（12 月～2 月）
	2017	1 号近隣公園（ふじ池、トンボ池エリア）全面開園
	2018	「柏市都市景観賞」受賞
	2019	柏市制 65 周年市政功労者表彰
	2023	・（公社）日本ユネスコ協会連盟 「プロジェクト未来遺産」登録 ・「ちば文化資産」選定

活動紹介

こんぶくろ池とその周辺林の自然環境を保全育成・管理する里山活動、環境保全育成に関わる調査・研究・情報収集活動、自然環境の大切さを理解できる環境教育などの啓蒙活動を実施しています。

1



整備活動

里山活動

森の下草・ササ刈り、
園路・木道などの整備、
倒木・劣勢木の除去など
里山としての整備活動



除草作業

園内を定期的に刈払い機や
手作業で除草作業を実施し、
里山の生態系を保っています。



ロープ柵補修作業

園内に設置したロープ柵の補修
を定期的に行っています。

2



調査活動

調査・研究活動

植物・昆虫・鳥等の調査
希少植物の保全活動等
千葉大学・東京大学と協同の
研究活動



昆虫の種類を調査

森には植物以外に昆虫・菌類・
野鳥といった様々な生物が生息
しており、その種類や生態を調査
しています。



チョウ類のモニタリング調査

一定の調査ルートを定期的に
歩き、チョウ類の種名と個体数
を記録しています。

3



自然体験活動

各イベント・ 自然体験活動等

自然観察会・イベントなどの開催、
公園の周知・啓発活動などの活動



啓蒙活動

「環境教育の場」と位置付け、
自然環境の大切さ等を理解出来る
環境教育などの啓発活動も実施
しています。



きのご観察会

毎年決まった時期にきのご観察会
のイベントを開催しています。
同じ時期でも出たりでなかったり
新たな発見があります。

柏市・大学との連携

『こんぶくろ池保全活動報告会』

こんぶくろ池自然博物公園内にて行われる保全活動及び調査・研究の活動の場として東京大学、千葉大学のアドバイザーの先生方、柏市公園緑地課の方も交え発表するとともに、こんぶくろ池自然博物公園をフィールドに研究活動を実施している大学院生や学生にも成果を発表してもらう場として毎年開催しています。

2023年度の活動報告会は、2024年3月24日（日）に東京大学柏キャンパスで開催されました。会場は1年ごとに東京大学、千葉大学のキャンパスを使用し行われています。



活動報告会の様子

千葉県初の「プロジェクト未来遺産登録」!!

1980年代からの市民による地道な活動が評価され、2023年3月に千葉県で初めて日本ユネスコ協会連盟が登録決定する「プロジェクト未来遺産」に登録され、伝達式が柏市役所本庁舎で開催されました。

プロジェクト未来遺産

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟では2009年から日本の豊かな自然や文化を100年後の子どもたちに伝えていくことを目的に、有形・無形の文化や自然を守り伝える市民の活動を、「プロジェクト未来遺産」として登録・応援する未来遺産運動を実施しています。



「プロジェクト未来遺産 2022」登録証伝達式

『ちば文化資産』にも選定

「ちば文化資産」は、県内の文化資産のうち、県民により選定した、多様で豊かなちば文化の魅力を特徴づけるモノやコトで、令和5年3月に「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』」にこんぶくろ池自然博物公園が選定されました。

会員・サポーター募集

こんぶくろ池自然博物公園を活動フィールドとして、柏市から公園管理業務を受託し、NPO法人の会員が自主的に活動を実施しています。

活動は、「無理せず・楽しく・安全第一に」を続けています。男性メンバーだけでなく、女性メンバーも活躍していますが会員メンバーの高齢化が進んでおり、新規会員の確保が課題となっています。里山の保全活動体験会等も開催しており、活動に興味のある方を募集しています。

〈問い合わせ先〉

NPO法人 こんぶくろ池自然の森

〒277-0873 千葉県柏市中十余二 399-1

TEL: 047-7132-8800（平日は柏市役所に転送されます。）

Mail: info@konbukuroike.com

URL: <https://www.konbukuroike.com>

